



2019年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2018年8月10日

上場会社名 日建工学株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9767 URL https://www.nikken-kogaku.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 皆川 曜児
 問合せ先責任者 (役職名) 財務部長 (氏名) 長濱 龍夫 TEL 03-3344-6811
 四半期報告書提出予定日 2018年8月10日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第1四半期の連結業績 (2018年4月1日～2018年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第1四半期	1,847	14.2	△88	—	△82	—	△88	—
2018年3月期第1四半期	1,618	△18.0	△112	—	△126	—	73	—

(注) 包括利益 2019年3月期第1四半期 △96百万円 (-%) 2018年3月期第1四半期 81百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第1四半期	△4.85	—
2018年3月期第1四半期	4.04	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第1四半期	7,488	1,811	24.2
2018年3月期	8,213	1,908	23.2

(参考) 自己資本 2019年3月期第1四半期 1,811百万円 2018年3月期 1,904百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	3.00	—	0.00	3.00
2019年3月期	—	—	—	—	—
2019年3月期 (予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2019年3月期の連結業績予想 (2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	3,500	△4.1	△190	—	△210	—	△220	—	△12.06
通期	9,000	2.8	140	—	100	—	80	—	4.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年3月期1Q	18,622,544株	2018年3月期	18,622,544株
② 期末自己株式数	2019年3月期1Q	378,135株	2018年3月期	376,857株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年3月期1Q	18,245,342株	2018年3月期1Q	18,252,657株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、上記予想の前提条件等に関する事項につきましては、2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用や企業収益の改善が続き、景気は緩やかな回復傾向に推移いたしました。

建設業界におきましては、建設投資は底堅く推移しているものの、依然として建設業界における労務単価、建設資材価格等の動向にも注視が必要な経営環境にあります。

当社グループにおきましては、昨年6月に子会社化した三省水工株式会社の売上高が寄与したことにより当第1四半期連結累計期間の売上高は、1,847百万円（前年同四半期比228百万円増）となったものの、固定費を吸収するには至らず営業損失88百万円（前年同四半期は112百万円の営業損失）、経常損失82百万円（前年同四半期は126百万円の経常損失）となり、親会社株主に帰属する四半期純損失は88百万円（前年同四半期は73百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

なお、販売費及び一般管理費につきましては子会社が増えたことから前年同四半期と比較して35百万円増加しておりますが、拠点事務所の統廃合やグループ会社間での交流人事などの合理化・効率化に向けた施策は順調に推移しており、固定費の削減について一定の成果が出ております。

セグメントの業績につきましては、次のとおりであります。

型枠貸与事業

昨年6月に子会社化した三省水工株式会社の売上高が寄与したことにより売上高が388百万円（前年同四半期比112百万円増）となりましたが、固定費を吸収するには至らず、営業損失は53百万円（前年同四半期は26百万円の営業損失）となりました。

資材・製品販売事業

昨年6月に子会社化した三省水工株式会社の売上高が寄与したことにより売上高が1,458百万円（前年同四半期比116百万円増）となりましたが、固定費を吸収するには至らず、営業損失は35百万円（前年同四半期は85百万円の営業損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産

当第1四半期連結会計期間末における総資産は7,488百万円となり、前連結会計年度末比725百万円の減少となりました。

その主な要因は、受取手形及び売掛金の減少749百万円、電子記録債権の減少119百万円及び、現金及び預金の増加235百万円等によるものであります。

②負債

当第1四半期連結会計期間末における負債は5,676百万円となり、前連結会計年度末比628百万円の減少となりました。

その主な要因は、支払手形及び買掛金の減少367百万円と、短期借入金の減少120百万円及び長期借入金の減少83百万円等によるものであります。

③純資産

当第1四半期連結会計期間末における純資産は1,811百万円となり、前連結会計年度末比96百万円の減少となりました。

その主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純損失による利益剰余金の減少88百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間および通期の業績につきましては、2018年5月14日に公表いたしました業績予想と変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,707,545	1,943,366
受取手形及び売掛金	3,287,946	2,538,840
電子記録債権	333,774	214,541
商品及び製品	1,519,601	1,452,178
原材料及び貯蔵品	18,395	22,898
その他	177,366	178,451
貸倒引当金	△10,195	△9,173
流動資産合計	7,034,434	6,341,104
固定資産		
有形固定資産		
リース資産(純額)	208,167	173,647
その他(純額)	311,722	321,285
有形固定資産合計	519,890	494,932
無形固定資産		
	18,137	17,140
投資その他の資産		
投資有価証券	375,697	371,067
その他	442,666	441,426
貸倒引当金	△177,364	△177,356
投資その他の資産合計	640,999	635,137
固定資産合計	1,179,027	1,147,210
資産合計	8,213,461	7,488,314
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,024,116	2,656,369
短期借入金	1,290,000	1,170,000
1年内返済予定の長期借入金	300,856	278,865
未払金	176,515	212,745
リース債務	123,865	97,438
未払法人税等	2,053	10,345
その他	274,678	228,280
流動負債合計	5,192,085	4,654,045
固定負債		
長期借入金	801,507	739,655
リース債務	92,414	82,958
退職給付に係る負債	182,200	163,278
その他	36,744	36,731
固定負債合計	1,112,866	1,022,623
負債合計	6,304,951	5,676,669

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,004,427	1,004,427
資本剰余金	541,702	541,702
利益剰余金	429,960	341,397
自己株式	△64,694	△64,875
株主資本合計	1,911,396	1,822,652
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△6,506	△11,136
その他の包括利益累計額合計	△6,506	△11,136
非支配株主持分	3,620	129
純資産合計	1,908,509	1,811,645
負債純資産合計	8,213,461	7,488,314

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
売上高	1,618,557	1,847,140
売上原価	1,357,834	1,527,045
売上総利益	260,723	320,095
販売費及び一般管理費	372,934	408,904
営業損失(△)	△112,210	△88,809
営業外収益		
受取利息	292	245
受取配当金	2,450	3,770
たな卸資産処分益	5,153	—
貸倒引当金戻入額	—	1,030
為替差益	17	2,895
保険解約返戻金	—	2,424
その他	799	1,249
営業外収益合計	8,713	11,616
営業外費用		
支払利息	4,120	5,319
支払手数料	17,595	—
手形売却損	743	316
その他	171	171
営業外費用合計	22,631	5,806
経常損失(△)	△126,128	△82,999
特別利益		
負ののれん発生益	169,318	—
特別利益合計	169,318	—
特別損失		
固定資産処分損	—	1,508
特別損失合計	—	1,508
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	43,189	△84,508
法人税等	△29,350	7,545
四半期純利益又は四半期純損失(△)	72,540	△92,054
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,164	△3,490
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	73,704	△88,563

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	72,540	△92,054
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9,002	△4,630
その他の包括利益合計	9,002	△4,630
四半期包括利益	81,542	△96,684
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	82,707	△93,193
非支配株主に係る四半期包括利益	△1,164	△3,490

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間（自 2017年4月1日 至 2017年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高および損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	型枠貸与事業	資材・製品販売事業	
売上高			
外部顧客への売上高	276,510	1,342,047	1,618,557
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	276,510	1,342,047	1,618,557
セグメント損失(△)	△26,380	△85,830	△112,210

2. 報告セグメントの損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額および当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	△112,210
セグメント間取引消去	—
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△112,210

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

当第1四半期連結累計期間において、三省水工株式会社を子会社化したことに伴い、負ののれん発生益169,318千円を特別利益に計上しております。なお、負ののれん発生益は特別利益のため、セグメント利益には含めておりません。

II 当第1四半期連結累計期間（自 2018年4月1日 至 2018年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高および損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント		合計
	型枠貸与事業	資材・製品販売事業	
売上高			
外部顧客への売上高	388,776	1,458,364	1,847,140
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	388,776	1,458,364	1,847,140
セグメント損失(△)	△53,233	△35,576	△88,809

2. 報告セグメントの損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額および当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	△88,809
セグメント間取引消去	—
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△88,809

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報
該当事項はありません。